

何を思い

安芸高田市に移り

どう住み続けるのか。

市内に住むI・Uターン者たちの生の声から

“あきたかた暮らし”のススメを考えます。

I LOVE U! 安芸高田市

安芸高田市を「愛する」I・Uターンの人たちが食事をしながら交流を深める「お茶会」が昨年度10月から始まり今回で7回目を迎えました。東北地方、関東地方、海外など、様々な場所から縁あって安芸高田市に「住む」と決めた老若男女の移住者たち。「お茶会」では「仲間」と夢を語り合う生き生きとした人々がそこにいました。



▽「お茶会」がはじまったきっかけ
地域おこし協力隊の宮崎さん（上段右から3人目）・寄能さん（産休中のため欠席）を中心に「I・Uターン者のコミュニティの場」を作りたいと開催されたのが始まりです。今では、人が人を呼びこみ、多くのI・Uターンの人々が集い交流を深められています。

以前の住まいは？

愛知 庄原市
神奈川 東広島市
東京 広島市
青森 大阪
東ティモール 民主共和国
香川 三次市
島根 埼玉

移住のきっかけは？

実家 農業をしたい
知り合いの紹介 広島で就職希望
結婚 親の実家
仕事

市の住宅政策課で、空き家コンシェルジュ
として活躍中の地域おこし協力隊員内田峻典さん。大阪出身の内田さんは、新たな環境で自分の人生を過ごしたいと新天地を探されていたおり、縁あって安芸高田市に來られ、今日まで市内で過ごされています。この度、念願が叶い民家を借りることになりました。まもなく大阪にいる妻の和美さんと生まれたばかりの子供を呼び寄せ、家族で定住をされるそうです。「子供が豊かな自然環境のもと、のびのび育ってほしい」と、安芸高田市で子育てをする喜びを語っていただきました。



▼今月の表紙

内田さんは、市内の知人の紹介で、甲田町の山本さん（山本さん夫婦・表紙写真右上）の民家を借りることになりました。山本さん夫婦は、以前外国人旅行者をもてなす様子を撮影した民放テレビで話題になった方で、民家を大きく改修し格安で内田さんに貸されるそうです。

妻の奈緒さんと子供、両親の5人家族
で市内に暮らし増野一幸さん。IT企業に勤め、東京や香川で活躍をされてきました。40代の体力があるうちに、ITの知識や能力を活かした農業の開発に取り組みたいと夢を持ち、5年前に親の実家である市内へ移住されました。独自の発想と自身の豊富な知識を活かした新たな農業に挑戦されています。



市内の借家で相棒の飼猫と暮らす工藤一晶さん。出身は青森県。仕事の関係で現在、市内に勤務されています。持ち前の明るく社交的な性格で地域の行事にも積極的に参加されています。北海道にいる工藤さんの前任者も市内に頻りに訪れるぐらい、住めば住むほど「あきたかた暮らし」が好きになるそうです。工藤さんは転勤しても、いつの日か必ず市内に戻り定住したいと力説されました。



I 都市部で生まれ育った人が地方
U 進学や就職で都市部へ移住した人が、再び生まれ故郷へ戻ること。
ターン ターン

